

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和07年06月16日(月)

事務事業		児童福祉推進事業		担当課	こども青少年課	担当係	児童相談係	管理番号	30311	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市入院助産条例、深谷市入院助産条例施行規則、児童福祉法、深谷市子どもショートステイ事業実施要綱					
	小項目	1	子育て支援の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		保護者の社会的、身体的事由等により、助産や家庭における児童の養育が困難となった保護者及び児童のために、①助産施設措置事業、②子どものショートステイ事業、③母子生活支援施設措置事業を実施し、子育て家庭に対するセーフティネットとして機能するものである。 (補助対象事業：助産施設措置事業、母子生活支援施設措置事業、補助率：国 1/2、県 1/4、市 1/4、子どものショートステイ事業、補助率：国、県、市とも 1/3)								
目的 ※何のために		①低所得者が保健上の必要に応じて、助産を受けられるため、②一時的に家庭での養育が困難となった児童の安全を確保するため、③母子家庭の生活を支援し自立を図るために各事業を実施する。								
対象 ※誰・何を対象に		①経済的事由により入院助産を受けることができない妊産婦②保護者の病気、出張等により養育が一時的に困難となった児童 ③ひとり親の女子及びその者が監護すべき児童								
手段 ※どのように		①指定する助産施設に入所させ、助産を受けられるようにする。 ②市が委託する乳児院および児童養護施設に短期間(原則として1週間)預かる。③母子生活支援施設に入所させ、その生活を支援する。								
成果 ※何を求めるか		さまざまな事由に応じて、必要のある妊産婦、保護者、児童に対して、その必要性に応じて、適切なサービスが提供できる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	子どものショートステイ事業	95,740
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	児童入所施設措置事業	0
本事業の 主な業務		・ 助産施設申請受付					・ 子どものショートステイ事業申請受付			
		・ 助産施設との調整・委託					・ ショートステイ委託施設との調整			
		・ 母子生活支援施設申請受付					・ 各事業の費用支払い事務			
		・ 母子生活支援施設との調整					・			
		・ 母子生活支援施設入所者への面接指導					・			
		・ 子どものショートステイ施設との委託契約					・			

## 2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位：円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画						
事業費	予算(現額)	2,369,000	1,458,000	1,576,000	5,443,000	
	決算額	782,873	85,458	95,740	0	
	財源内訳	国支出金	324,839	26,000	32,000	2,639,000
		県支出金	174,419	26,000	16,000	1,360,000
		地方債	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	11,000	27,000
		一般財源	283,615	33,458	36,740	1,417,000
人件費	従事職員数(人)	1.00	1.00	0.95	1.08	
	人件費相当試算※	7,869,557	8,010,165	7,811,129	9,167,407	
総事業費試算		8,652,430	8,095,623	7,906,869	14,610,407	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名	目標値 実績値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	申請世帯数（助産施設措置事業）	目標値	件						
		実績値		0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請件数の年度ごとの予測は困難なため、目標値は設定しません。 / 年間の申請世帯数					
	実績値の算出式								
活動指標 2	申請世帯数（ショートステイ事業）	目標値	件						
		実績値		7.00	2.00	3.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請件数の年度ごとの予測は困難なため、目標値は設定しません。 / 年間の申請世帯数					
	実績値の算出式								
活動指標 3	申請世帯数（母子生活支援施設措置事業）	目標値	件						
		実績値		1.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請件数の年度ごとの予測は困難なため、目標値は設定しません。 / 年間の申請世帯数					
	実績値の算出式								
成果指標 1	申請に対して利用できた割合（助産・ショート・母子生活支援）	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全事業の申請に対して、全て利用できることを目指す / 利用世帯／申請世帯					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

#### （1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	ショートステイ事業では3世帯の申請があった。母子生活支援施設の利用、助産施設の利用希望はなかった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	ショートステイ事業では保護者の疾病による利用希望があり、預かりの対応が来ている。母子生活支援施設についての相談はあったが利用には至らなかった。
			評価者 児童相談係長 金井 雅宜

#### （2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	ショートステイ事業では聞取りシートを利用することで預かり先に必要な情報を伝えることが来ている。
			評価者 児童相談係長 金井 雅宜